

トビハゼと

カニと

ウナギと

江戸前の

都立動物園・水族園合同企画 身近な水辺保全講演会

かつては身近にいた水辺の生き物は、
多くの種でその数が減っています。

守っていくにはどうすればよいのでしょうか？

保全活動に取り組む水族園スタッフと

生き物のすみかづくりに携わる研究・技術者が
それぞれの立場から、

生き物がすみやすい環境とは何かを考えます。

2020

03

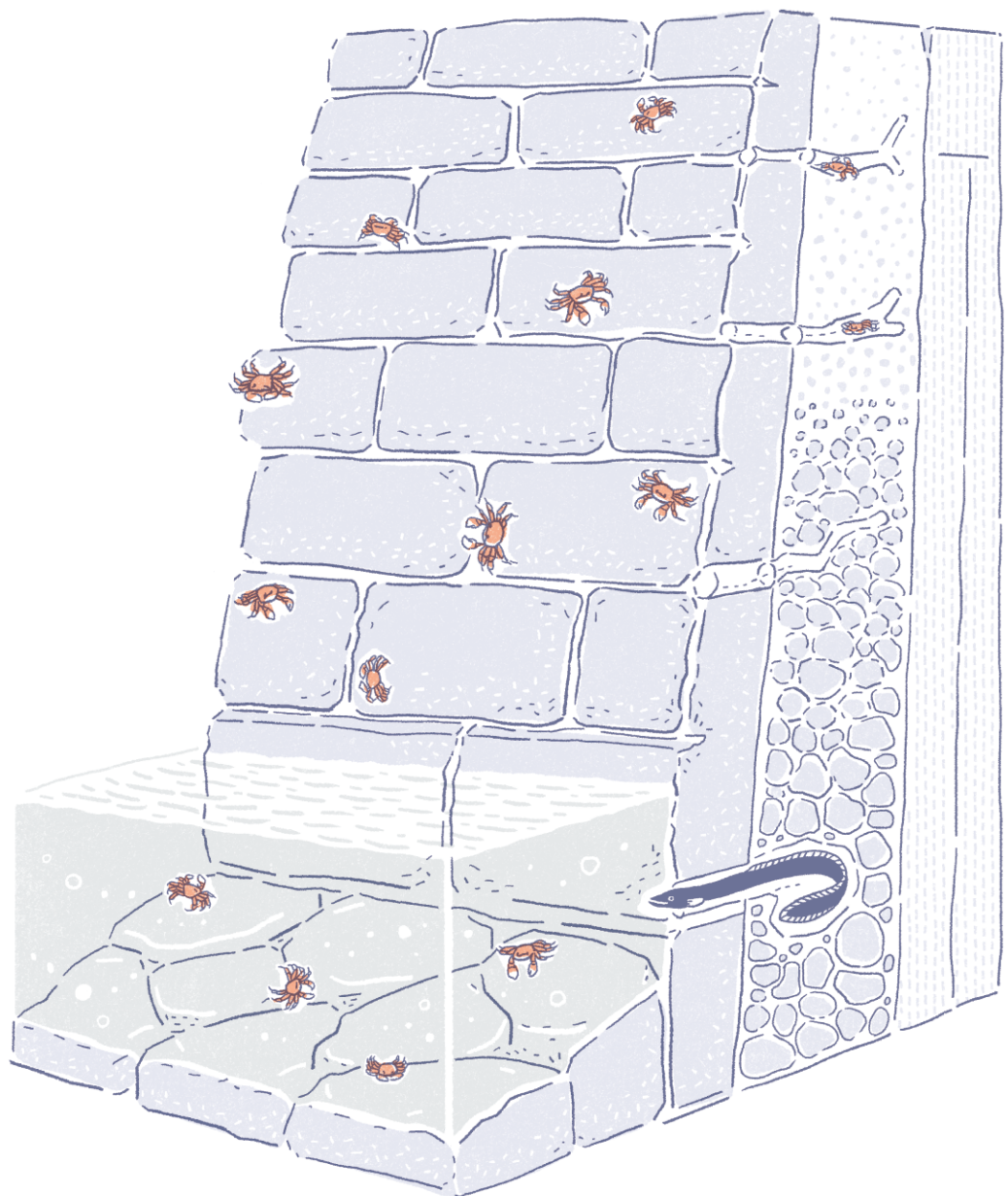
01

SUN.

13:30

16:00

無
参
料
加



事前申込制
80名

年齢制限なし
中学生が理解できる内容です

東京都葛西臨海水族園
本館2階レクチャールーム



葛西臨海水族園のトビハゼ保全活動について

笹沼伸一（葛西臨海水族園 飼育展示課 飼育展示係）

2 伝統工法と新技術で救う水辺のウナギ

さくらい 柵瀬信夫（鹿島建設株式会社 環境本部 環境ソリューショングループ）



※ニホンウナギは環境省レッドリストでは絶滅危惧IB類EN、東京都レッドリストでは東京都本土部絶滅危惧II類に指定されています。

ニホンウナギが絶滅危惧種になりました。この20年、ウナギ研究は産卵場所探しと人工種苗生産が主になり、多くの研究者は足元にいるウナギのことをわすれていました。
その一方で私たちは、ウナギ資源の保護再生は「親がいなければ子どもは増えない」という基本的な考えのもと、建設企業の立場から水辺構造物の改善をめざし、水辺食物連鎖の上位であるウナギとそのエサとなる生き物のすみかづくりを考案しました。講演では、考案したすみかがどのように生き物に利用されているかなどについて、実例を中心に紹介します。

【柵瀬信夫プロフィール】1949年生まれ。日本大学大学院水産学専攻博士課程修了 農学博士。1982年鹿島建設株式会社入社、建設構造物と生き物との共存を主題に調査研究を行い、その現場での知見を基に、生き物（人間を含め）のすみかづくりの特許と実用製品の開発を行い、製品普及の技術営業も行っている。



応募方法

Eメールで以下のとおりお申し込みください。
先着順で受付、定員になり次第締め切ります。

【宛先】 mizube@tokyo-zoo.net

【件名】 第2回水辺講演会

【本文】 参加希望者全員の氏名（ふりがな）・年齢、
代表者の住所・氏名・電話番号を記入。

●お申し込みの際は、@tokyo-zoo.net からのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。●定員に達した場合は、ホームページ（東京ズーネット <https://www.tokyo-zoo.net/zoo/kasai/>）でお知らせします。

身近な水辺保全講演会は、井の頭自然文化園でも同時開催。
2020年2月29日（土）
「水辺の植物・動物・人のつながりを考える」
詳細は井の頭自然文化園のホームページをご覧ください。



東京都葛西臨海水族園

- 開園時間：午前9時30分～午後5時（入園は4時まで）
- 休園日：毎週水曜日（祝日や都民の日に当たるときは翌日）
- 入園料：一般700円／65歳以上350円／中学生250円
＊小学生以下、都内在住・在学の中学生は無料
- お問合せ：東京都江戸川区臨海町6-2-3 03-3869-5152
- HP： <https://www.tokyo-zoo.net/kasai/>

